

国は兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖における 25 の海域活断層の長期評価を公表(8月2日)

公表された長期評価について、被害想定調査を行う対象断層とするか整理

- 本県から離れている断層(1～8、23～25)⇒現在の対象断層と比べ、地震被害の影響が小さいことから対象断層としない
- 本県沿岸の断層(9～22)⇒現在の対象断層と比べ、影響が大きいものを対象断層として整理

「14 門前断層帯」は対象断層としている「平成 19 年能登半島地震の断層」と置き換える

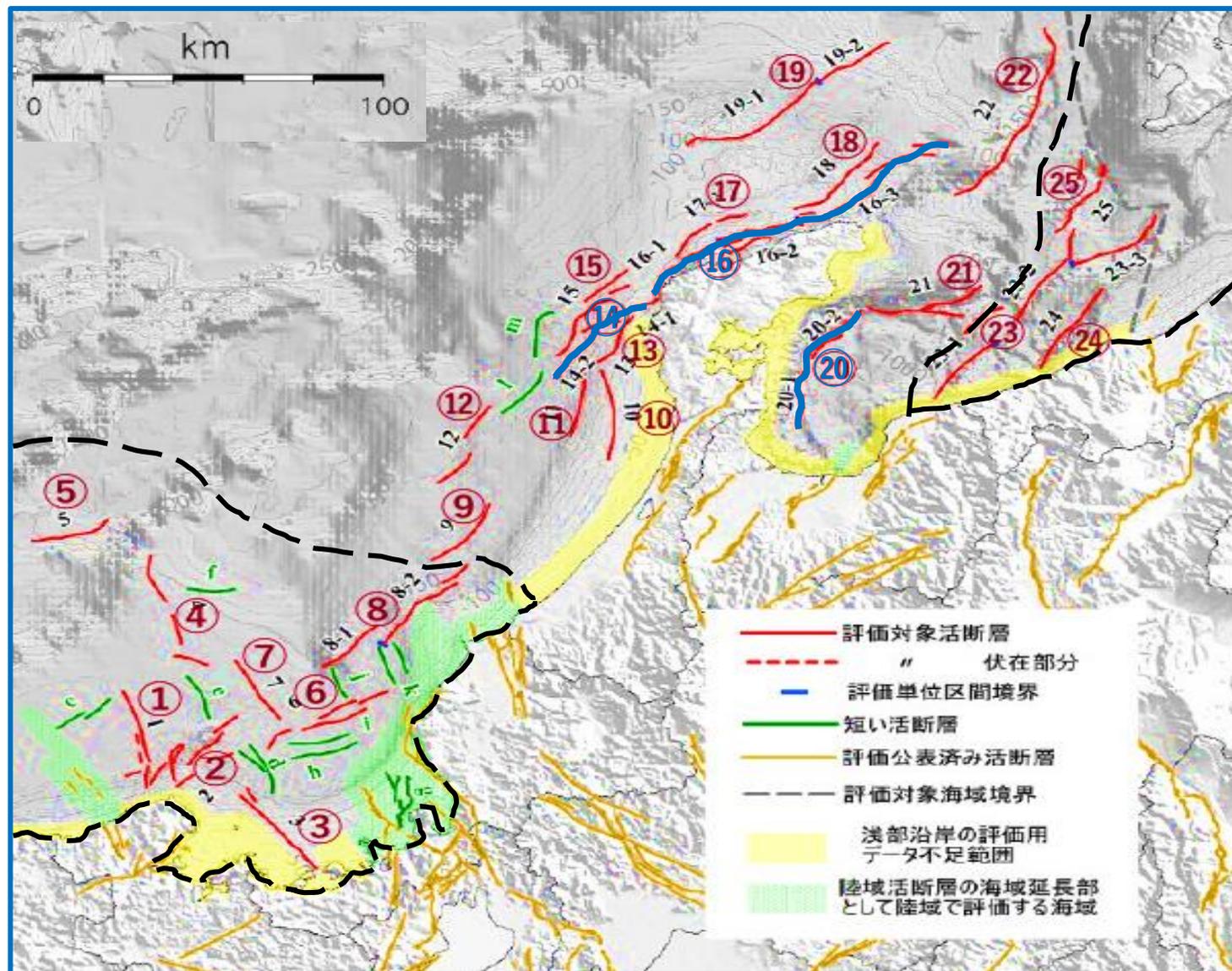
「16 能登半島北岸断層帯」は対象断層としている「令和 6 年能登半島地震の断層」と置き換える

「20 七尾湾東方断層帯」は能登内浦地域への影響が考えられるため対象断層に追加

今回示された海域活断層の長期評価		対象断層の適否	適否の理由
1 沖ノ礁北方断層	25km/M7.2	×	本県から離れているため影響が小さい
2 経ヶ岬中断層	36km/M7.4	×	
3 小浜冲断層	33km/M7.4	×	
4 浦島礁北方北断層	40km/M7.5	×	
5 若狭海丘列北縁断層	21km/M7.0	×	
6 越前岬西方沖北断層	38km/M7.5	×	
7 浦島礁北東断層	23km/M7.1	×	
8 ゲンカツ瀬・大ヶ南東縁断層帯	52km/M7.7	×	
9 加佐岬中断層	25km/M7.2	×	調査対象としている陸域の福井平野東縁断層帯の影響が大きい
10 羽咋冲東断層	30km/M7.3	×	調査対象としている陸域の邑知潟断層帯の影響が大きい
11 羽咋冲西断層	21km/M7.0	×	
12 内灘冲断層	29km/M7.3	×	

今回示された海域活断層の長期評価		対象断層の適否	適否の理由
13 海士岬冲東断層	21km/M7.0	×	近接する 14 門前断層帯の影響が大きい
14 門前断層帯	38km/M7.5	○	H19能登半島地震の断層と置き換える
15 沖ノ瀬東方断層	35km/M7.4	×	近接する 14 門前断層帯の影響が大きい
16 能登半島北岸断層帯	94km/M7.8-8.1	○	R6能登半島地震の断層と置き換える
17 輪島はるか沖断層	24km/M7.1	×	より陸域に近い 16 能登半島北岸断層帯の影響が大きい
18 能登半島北方沖断層	31km/M7.3	×	
19 舳倉島近海断層帯	64km/M7.8	×	
20 七尾湾東方断層帯	43km/M7.6	○	能登内浦地域への影響が考えられるため追加
21 飯田海脚南縁断層	31km/M7.3	×	調査対象としている陸域の能登海岸活動セグメントの影響が大きい
22 富山トラブ西縁断層	61km/M7.8	×	より陸域に近い 16 能登半島北岸断層帯が大きい
23 上越冲断層帯	86km/M7.8-8.1	×	本県から離れているため影響が小さい
24 名立冲断層	31km/M7.3	×	
25 上越海丘東縁断層	25km/M7.2	×	

＜長期評価が示された海域活断層＞



＜現在の対象断層＞



現在の対象断層

①森本・富樫断層帯	26km/M7.2
②邑知潟断層帯	46km/M7.6
③砺波平野断層帯(西部)	26km/M7.2
④庄川断層帯	67km/M7.9
⑤福井平野東縁断層帯(主部)	48km/M7.6
⑥能登海岸活動セグメント	22km/M6.9
⑦平成19年能登半島地震の断層	34.5km/M6.9
⑧猿山沖セグメント	24.1km/M7.1
⑨輪島沖セグメント	24.1km/M7.1
⑩珠洲沖セグメント	21.6km/M7.1
⑪令和6年能登半島地震の断層	長さ調査中/M7.6

長期評価を踏まえた被害想定調査対象断層の検討

○長期評価を踏まえた、被害想定調査対象断層は以下のとおり

- ・ 陸域の断層帯は変更なし (①～⑥)→**①～⑥**)
- ・ 「⑦平成19年能登半島地震の断層」を「**⑦門前断層帯**」に置き換え
- ・ 令和6年能登半島地震の断層としていた⑧～⑩を含む⑪の断層は「**⑧能登半島北岸断層帯**」に置き換え
- ・ 能登内浦地域への影響が考えられる「**⑨七尾湾東方断層帯**」を対象断層に追加

【現在】対象断層一覧

①森本・富樫断層帯	26km/M7.2
②邑知潟断層帯	46km/M7.6
③砺波平野断層帯	26km/M7.2
④庄川断層帯	67km/M7.9
⑤福井平野東縁断層帯	48km/M7.6
⑥能登海岸活動セグメント	22km/M6.9
⑦平成19年能登半島地震の断層	34.5km/M6.9
⑧猿山沖セグメント	24.1km/M7.1
⑨輪島沖セグメント	24.1km/M7.1
⑩珠洲沖セグメント	21.6km/M7.1
⑪令和6年能登半島地震の断層	調査中/M7.6
-	-

【長期評価反映後】対象断層一覧

①森本・富樫断層帯	26km/M7.2
②邑知潟断層帯	46km/M7.6
③砺波平野断層帯	26km/M7.2
④庄川断層帯	67km/M7.9
⑤福井平野東縁断層帯	48km/M7.6
⑥能登海岸活動セグメント	22km/M6.9
⑦門前断層帯	38km/M7.5
⑧能登半島北岸断層帯	94km/M7.8～8.1
⑨七尾湾東方断層帯	43km/M7.6

<断層位置図>



※ ⑥能登海岸活動セグメントは長期評価未実施であるが、能登内浦地域の被害想定のため対象断層として整理（産総研活断層データベースを使用）

※ なお、津波浸水想定区域図の見直しについては、今回の長期評価や今後示される地形データ(国土地理院)の修正を踏まえ、別途検討